



メスを置き、介護老人保健施設へ －枯木に花を咲かせましょう－

田宮病院

島 影 尚 弘

私は最終的に令和6年3月に長岡赤十字病院の退職をもってメスを置き、第一線での外科医人生に終止符を打ちました（実際に“切った貼った”を主体とする本格的な手術は、もう既に2～3年前から退いていました）。そして4月より介護老人保健施設桃李園で新たな医療活動をスタートしました。

これ迄は自分自身の感覚や感情を自ら伝えられる人を対象に診療を続けて来ました。しかし、今私が向き合っている人達は介護を要する人達です。殆どの方が85歳を超えています。中には運動障害を伴っている方、記憶障害を伴っている方がいます。会話をしない、若しくは出来ない人もいます。そんな老人達と毎日対面し、感染症対策や愁訴に対応しています。

私達は施設に入所している人を患者ではなく“利用者”と呼んでいます。利用者は予期しない時に38度前後の熱を出します。時には「今日は難儀」「腹が痛えー」「此处が痛えー」と訴えてきます。

勤め始めた頃は発熱者に対し、几帳面にバイタルを確認し、身体所見を調べ、続いて視診・聴診・触診を行っていました。

長岡赤十字病院に勤務していた時なら、原因を調べる為と除外診断を目的に何時でも検査を依頼出来ました。しかし、当施設では何か検査を行おうとしても、出来る検査項目はテスパーパーでの尿定性検査と心電図検査のみです。血液検査も放射線検査も超音波検査も出来ません。血液生化学検査や尿検査は、田宮病院や長岡西病院に午前の検査時間に間に合うように検体を届けてもらいます。午後になってしまうと検査や報告が間に合わないため、検体は受け取ってもらえません。放射

線検査に至っては、田宮病院や長岡西病院に依頼のための紹介状を書き、病診連携を介して連絡して可能とわかってから、利用者を直接職員に搬送してもらいます。結果はCDで届けられます。

しかし、検査結果を見ても比較するデータが存在するわけでもなく、肺炎以外の多くの場合は尿潜血陽性くらいの変化しか分からないことが大多数です。

肺炎と尿路感染症以外は抗生物質等の処方はありません。記憶の障害があったとしても熱感や苦痛は訴えられるものです。枕元で話をしてみると、多くの利用者は熱発しているとは思えないほど元気なことが多いのです。しかし言葉が聞き辛く“もごもごと発語している”だけで何を言っているのか分からない事が多いのです。脱水傾向になって口腔内が乾燥して呂律が上手く回らなくなっていたのです。水分摂取を促すか500mlくらい点滴をして様子を見ると大抵の人は改善しました。

他にも「今日は難儀」「腹が痛えー」「此处が痛えー」「吐いたー」と訴える利用者も結構居ます。身体所見や検査結果では大した問題は無く、尿潜血陽性くらいの変化しかないので。症状は増悪と改善を繰り返し、症状通りの表情を見せます。話をしても何がどうなっているのかさっぱり分かりません。様子を見ることにして看護師さんの記録を読んでみると、食事量が減り、軽度ですが体重が減少していることが分かりました。量的には少ないのですが年寄りには食事量と水分摂取量がほぼ比例しているようです。夏の暑い時期でもあまり水分を摂りません。冬の時期なら更に減ります。発熱が目立たないため熱中症とは違うようですが、脱水がベースに存在する電解質異常が多いよ

うです。やはり水分摂取や輸液で多くの方が改善しました。

失敗したことも有ります。水分の補給も注意しないと高齢者は直ぐに浮腫みを生じます。心臓や腎臓が少し弱っている方も多いようです。多少の脱水傾向の方が元気で居られるようです。

総てが脱水傾向では済ませられません。実際に救急搬送を要する利用者もいます。しかし、そういう利用者は一見して重症感を漂わせているので、見誤ることはほとんどないようです。要する

に原因がよくわからない利用者の対応が難しいのです。

“枯れ木に花を咲かせる”ことは容易ではありません。今まで経験しなかった事を日々体験しています。この依頼原稿を書いている最中にも発熱者が出ました。この時に腕まくりして診察をしていたのですが、自身の上腕の張りの無さと乾燥傾向に気づきました。私自身も介護の領域に少しずつですが近づいていることを実感させられました。(長岡市医師会報「ぼん・じゅ〜る」令和8年7月号より)

新潟県医師会協力テレビ放送

新潟県医師会では県内の放送局と協力し、病気予防・健康相談・検診案内など、県民向けの健康情報を提供しております。是非ご覧ください。待合室などでもご利用ください。

■NST News タッチ「医師に聞く」コーナー

放送時間：18：09～19：00

(敬称略)

放送日	テーマ	出演者
10月28日(水)	女性の低体重/ 低栄養症候群 (FUS)	新潟大学大学院医歯保健学研究科 血液・内分泌代謝内科学分野 教授 曾根 博仁
11月25日(水)	肺炎球菌ワクチン	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授 茂呂 寛
12月 (放送日未定)	高齢者のヒートショック	新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長 熊谷 謙
令和9年 1月27日(水)	高齢者の頻尿	新潟市民病院 泌尿器科 科副部長 結城 恵里

* 放送日、内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。